



村松連合会長

自らの地域は自らで護る

消防団は、郷土愛護の精神に基づき地域住民の安全・安心を護るため昼夜を問わず消防・防災活動等に従事しています。

また、北設楽郡3町村の消防団は、消防思想の普及徹底や関係消防団相互の連携を図るため北設楽郡消防団連合会を組織しており、合同の訓練会を行うなど消防活動の向上発展に努めています。

本日は、去る9月13日(日)に行われた「平成27年度北設楽郡消防団連合会合同訓練会」の様子も含めて、北設楽郡消防団連合会会長の豊根村消防団長村松勝洋さんにお話を伺いました。

消防団は、どのようなことを行っているのですか。

北設楽郡には、設楽町、東栄町、豊根村の2町1村があり、それぞれ消防団を組織しています。

各消防団では、火災や災害時の出動行方不明者や遭難者の捜索・救助を行っています。

その他、ポンプ点検や訓練、研修などを通して団員の士気と団結力を高めるとともに、火災や災害の発生などに備えて防災力向上と防災意識の高揚に努め、日々の消防団活動を行っています。

す。

また、火災予防週間の広報活動や年末夜警など、火災を予防するための活動や台風等の接近が予想される場合には高齢者宅を訪問し、早めの対応をお願いすることで、災害に遭うことを未然に防ぐ活動など地域の実情に応じて行っています。

北設楽郡3町村による合同の訓練会は、定期的に行っているのですか。

北設楽郡は広大な面積と高低差のある急峻な地形で、山々が連なっている土地ですので消火活動等には苦勞します。

特に山火が発生すると、消火用水利(水源)の確保や火災現場までのホース延長、中継送水など各町村の消防団だけでは消火活動が困難になる場合があります。

そこで、新城市消防署にも参加いただき、各町村の消防団では対応できない火災を想定した訓練を行い、連携体制を確認するとともに、消火技術の習得、鍛錬に励むための合同訓練会を年に1度実施しています。

また、設楽町と東栄町の各消防団は、隣接する新城市消防団との合同訓練も行っています。



現場本部で対策会議

今回の合同訓練会では、どのようなことを行ったのですか。

今年の合同訓練会は、東栄町足込地内で火災が発生したという想定で、中継訓練及び放水訓練を実施しました。

始めは、火災発生時の通報を受けた新城市消防署の指揮隊が現場本部を設置し、東栄分署のタンク車が消火活動を行います。

しかし、タンク車の水だけでは足りなくなつたため、東栄町消防団が近くの川からポンプで水をくみ上げ、ホースを繋ぎタンク車に水を送り消火活動を継続します。

それでも水が足りなくなつたため、設楽町、豊根村の消防団に応援要請を行い、下流の川からポンプで水をくみ上げ、ホースを継ぎ足し継ぎ足して、最後には水利点から1200m先の消火点まで、ホースやポンプの中継により送水し、消火するという訓練を行いました。

ました。



水利（水源）を確保

訓練当日、朝は雨模様様の天気でしたが、訓練終了時には晴れ間も見えて少し暑いぐらいになりました。

そのような中で、設楽町、東栄町、豊根村の各消防団、新城市消防署が一堂に会して、ポンプ車15台、指揮車やタンク車、団員及び署員120名で訓練が行われました。

大勢の団員・署員の連携のとれた訓練が行われたのを聞いて、この地域を護ろうという郡内各町村の消防団員の熱意が山の谷間に満ち溢れていたことと思います。

訓練の様子を見ましたが、水利点から消火点までとても長かったですね。
送水・中継訓練のポイントは何かありますか。

何台ものポンプで中継しますが、ポ

ンプの水圧には気を付けなければいけません。それぞれ水圧がかかっていますので、送水のタイミングに合わせるべきちゃんと加圧しないとうまく送水できない場合があります。



ポンプ中継でホース延長

今回の訓練では、一部ポンプの具合がうまくいかない箇所があつて、一旦繋げたホースを順番に外し直して調整したということもありました。

やはり実際に訓練を行い、実践的な経験を積み重ねることがとても大切だと思います。

結構、のぼり勾配があつて、歩いて見て回るだけでも大変でした。
消防団員の方はホースを持って坂道を駆け上がり、とても大変だなと思いましたが、消防団にはどのような人が参加しているのですか。

北設楽郡内の消防団には、18歳から40歳前後の団員がいます。

消防団員は、それぞれが本業を持ちながら、非常勤の特別職の地方公務員として日夜、火災を始めとするあらゆる災害から地域住民の生命、財産を護るため消防・防災活動の中核として活動しています。

消防団には、40歳以上の人は入団しないのですか。

近年では、少子高齢化や就業構造の変化などにより、消防団員の確保が大変難しくなっています。

そこで、消防団を退職した消防団員OBを機能別団員（地域支援団員）として再び任命することで、長年に亘って培われた知識や技能等を活かした警戒、救助救援や後方支援など特定の業務に従事しています。

いろいろとありがとうございます。
最後に何か、ご意見はありますか。

消防団員数は年々減少しています。
消防団員は地域における消防・防災の中核であり、消防団員の減少は地域住民の安全・安心を護るうえで重大な問題です。

消防団も、組織体制を見直し、現状にあった組織にしていく必要はあると思います。何よりも組織体制の充実強化のため、入団できる方には積極的

に消防団活動へ参加していただきたいと思えます。

また、平成27年8月に豊川市で開催された愛知県消防操法大会には、北設楽郡を代表して設楽町消防団が出場しましたが、日頃の訓練の成果を如何なく発揮し、小型ポンプ操法の部で見事3位に入賞しました。

これからも頑張つて参りますので、是非とも応援いただきますようお願いいたします。

消防団についてのお問い合わせは、最寄りの町村役場 又は消防本部へご連絡ください。



鎮火を確認して訓練終了

訪問日：平成27年10月6日（日）
取材者：県民安全防災課 小久保 上田